

主に開いた器であり、

神聖な三一の神聖な分与の中で通常の日々を生きる

聖書：創 2:7. ローマ 9:21-23. IIコリント 4:7. IIテモテ 2:20-21

- I. 神がご自身の定められた御旨を成就することにおける手続きの第一段階は、命であるご自身を内容とする器として人を創造することでした——創 2:7：
- A. 神がわたしたちを選んだのは、わたしたちが三一の神で満たされた尊い器となるためでした——ローマ 9:21-23. IIコリント 13:14：
1. 神はご自身を内容とする器として人を創造し、尊い神であるご自身を内容とするために、多くの器からわたしたちを選びました。それはわたしたちが尊い器となるためです——4:7。
 2. 尊い器は、神聖な性質(金)と、贖われ再生された人の性質(銀)の両方から構成されています——IIテモテ 2:20-21。
 3. 神は器であるわたしたちにご自身の栄光を知らせます。それはわたしたちが栄光の器となるためです——ローマ 9:23. IIコリント 3:18. 4:6-7:
 - a. このことはすべて、彼のあわれみからであり、彼のあわれみにしたがっています。それはわたしたちの努力によって獲得されることはできません。
 - b. こういうわけで、わたしたちは彼を礼拝し、彼のあわれみのゆえに彼に感謝しなければなりません——ローマ 9:15-16, 18。
- B. パウロの十四の書簡の要約は、「開いた器」という二つの言葉で表現されることができます：
1. 新約がわたしたちに示しているのは、器としての信者たちが神を愛し、彼ら自身を神に開き続けることを、神は願っているということです——IIコリント 3:16：
 - a. わたしたちが存在の深みにおいて主に開いていないなら、彼はご自身をわたしたちの中へと分与することができず、わたしたちの心の中にご自身のホームを造ることができません——エペソ 3:17。
 - b. 開いた器は、開き続けて、神聖な三一の神聖な分与によって満たされること以外に何もしません——IIコリント 13:14。
 2. 真のクリスチャン生活は、主を愛し、主に開き続けて、自分の行ないを停止する生活です——マルコ 12:30. Iヨハネ 4:16-21：
 - a. そのとき、主は入って来て、すべてを行ないます。器はただ主を内容とし、主の満たすことと行なうことを享受します。
 - b. わたしたちはただ主を愛し、自分自身を主に開き続け、主が行ないた

いあらゆることを行なうあらゆる機会を主に与える必要があります
——エペソ 3:17。

c. これが、正しい、真のクリスチャン生活です——ガラテヤ 2:20。

3. わたしたちは次のように祈るべきです、「主よ、あなたの恵みによって、わたしは自分の存在のいかなる部分もあなたに閉じたくありません。わたしは自分自身を完全に、徹底的にあなたに開き続けることを選びます」:

a. この正しい祈り、より深い祈り、真の祈りは、主を愛し、主に開くことです——エペソ 3:17-19。

b. わたしたちがこのような祈りを持つなら、生ける、開いた器となり、主はご自身をもってわたしたちを満たす道を得ます——3:14-18。

c. 主はわたしたちを満たすとき、わたしたちのためにすべてを行ないます——19 節。

II. わたしたちはキリストにある信者として、神聖な三一の神聖な分与の中の、規則正しく、正常な経験において、通常の日々の生活をもって満足することを学ぶ必要があります——ローマ 8:2, 6, 10-11. エペソ 3:16-17 前半:

A. わたしたちは少しずつ、日ごとに、神聖な分与を受け、ゆっくりと、安定した方法で、何度もこの分与を受ける必要があります——II コリント 13:14. マタイ 6:11. 詩 68:19:

1. ほとんどの霊的な事柄は、わたしたちの中で一度で永遠に達成されるものではありません。そうではなく、わたしたちの肉体の命のように、大部分の霊的な事柄は、何度も繰り返されなければなりません——ヨハネ 6:57 後半, 4:14. I コリント 10:3-4。

2. 神がわたしたちに与えるものは何であれ、一度にすべて与えられるものではありません。もしそうであれば、わたしたちは耐えられなくなります。むしろ、神聖な供給は少しずつ与えられます。

B. 手順を経て究極的に完成された三一の神は、壮大な方法ではなく、通常の方法でわたしたちの内側におられます。こういうわけでわたしたちは、安定した正常なクリスチャン生活をする必要があります。わたしたちは特別でなければならないほど、また正常であればあるほど良いのです——コロサイ 1:27, 3:4. エペソ 3:16-17 前半。

C. 三一の神が神聖な分与を通してわたしたちに与える命のすべての事柄は、静かで、穏やかです。信者としてのわたしたちの生活も静かで、穏やかであるべきです。わたしたちは、日ごとにこのように生活し、単純に、神聖

な分与を受ける通常の生活をする必要があります——ローマ 8:6． Iテサロニケ 5:23． IIテサロニケ 3:16。

- D. わたしたちの運命は、神聖な三一の神聖な分与の中で通常の生活することです。なぜなら、わたしたちの御父は、わたしたちが彼の継続的な分与の下で、通常の方法で生活するように運命づけているからです——マタイ 6:11， 32-34． 24:40-41。
- E. わたしたちは信者として、信仰によって神聖な三一の神聖な分与を経験します。神が願っているのは、わたしたちが彼に依り頼むことによって、彼を命とすることによって、彼にご自身をわたしたちの中へと分与していただくことによって、すべてを行なうことです——エペソ 3:17 前半． ヘブル 11:1。
- F. こうして、わたしたちは霊的に正常になります。わたしたちの霊性は規則正しく、正常であり、何も壮大なものはないでしょう——ローマ 8:4， 6． ガラテヤ 5:22-23。

III. 神聖な分与における通常の日々の生活は、神聖なエコノミーの奇跡的で正常なことに仕上がっています—— Iテモテ 1:4． エペソ 3:9：

- A. キリスト、その霊、三一の神、神聖な性質を伴う神聖な命に対する経験は、完全に正常なことです——エペソ 3:16-17 前半。
- B. 神がわたしたちの経験と享受のために備えたすべての霊的で神聖な事柄は、正常なことです。それにもかかわらず、これらの正常な事柄は奇跡的です。こういうわけで、わたしたちは神聖なエコノミーの奇跡的で正常なことについて語るができます—— Iテモテ 1:4． エペソ 3:9。
- C. 再生は最大の奇跡ですが、それは正常な方法で起こります。こういうわけで、再生は正常であって奇跡的であり、わたしたちのクリスチャン生活における奇跡的で正常なことです——ヨハネ 3:3， 5-6， 8． Iペテロ 1:23。
- D. 主の御名を呼び求めることは、正常なことです。わたしたちが呼ぶとき、手順を経て究極的に完成された三一の神全体を受け取ることは、奇跡的なことです——ローマ 10:12． エレミヤ 33:3。